

市の人口	
(昭和64年1月1日現在)	
世帯数	56,889世帯 (前月比3世帯増)
人口	175,034人 (前月比54人増)
男	86,631人
女	88,403人

宇治市政だより

1/21
平成元年
(1989年)
第834号

発行 京都府宇治市
編集 広報課
〒611 京都府宇治市
宇治瓦屋33番地
電話 (0774)22-3141
●毎月1日・11日・21日発行



歴史資料館冬の企画展

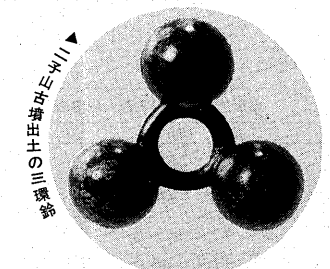
宇治川東部の古墳

出土品約100点を展示

☆1月28日(土)～4月16日(日) ☆入場無料

歴史資料館では、一月二十八日(土)から四月十六日(日)まで、冬の企画展「宇治川東部の古墳」を開催。宇治川東部に点在する古墳のうち、二子山・瓦塚・二子塚・榎上りなどの古墳から出土した遺物、約百点を展示します。これらの遺物は、古墳時代の歴史を解き明かすのに成果を上げていっているものです。この機会に、ぜひご覧ください。

榎上り古墳出土の須恵器
左奥の壺の高さが18センチメートル

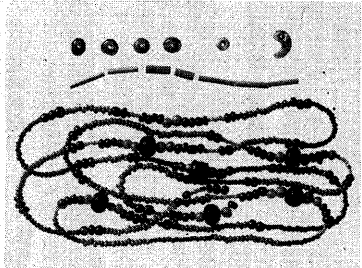


三環状の土師器

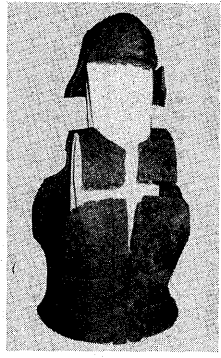
宇治川東部の古墳の発掘は昭和四十二年に始まり、現在も続中。この間、その形も大きさ・埋葬品などから、宇治山本の宇山古墳は古墳前期・中期に属した。大和勢力に属するもの、五戸庄大塚の二子塚古墳は古墳前期に属した。須恵器を支持した勢力のものなどといつておぼろげに分かっています。このように、古墳時代から出土するものは、それぞれが造られた時代の様相を明らかにする事から与えられる、貴重な歴史の遺産なのです。

今回の企画展では、宇治川東部に点在する二子山・瓦塚・五戸庄大塚の二子塚古墳は古墳前期に属した。須恵器を支持した勢力のものなどといつておぼろげに分かっています。このように、古墳時代から出土するものは、それぞれが造られた時代の様相を明らかにする事から与えられる、貴重な歴史の遺産なのです。

歴史資料館
午前9時～午後5時
(月曜日・祝日は休館)
折居台1丁目1
☎1311



▲瓦塚古墳出土の玉類



▲二子山古墳出土の甲冑

のは、五七世紀に生み、宇治川東部の土台形成した人々の歴史を明らかにする上で、大変意味を帯びています。この機会に、ぜひ一度ご覧下さい。

自治功労者
植村庄三郎さん逝去
宇治市自治功労者の植村庄三郎さんが、一月四日、死去されました。九十一歳。植村さんは、昭和三十年五月から三十四年四月まで宇治市議会議員を、また、昭和二十六年七月から三十四年三月まで宇治市農業委員を務められ、地方自治庁農業振興に尽力されました。ここに顕彰ののちの福をお祈りいたします。

宇治の土師器を陳列します。ほとんが、今回初めて展示されるものです。こちらも併せてご覧下さい。

教育委員長に古池さんを再任
宇治教育委員会は、昨年十月の定例会で教育委員長に古池 巳雄さん(七十一歳)を再任(七期目)しました。また、同職候補者は服部 孝(四十七歳)を選任しました。任期は、昭和六十二年十月二十五日から平成元年十月二十五日の一年間です。

無火災の願い込め 消防出初め式



宇治市消防出初め式が、一月七日午前七時から、府立宇治公園の島で行われました。式典には、消防団や消防団員、宇治市消防連協協議会、少年・少年・婦人防火クラブ員、約六百人が参加。池本市長は、式辞の中で、元旦午前六時三十分、天皇陛下が崩御せられました。深い悲しみと哀悼の意を表わすと共に、このい福をお祈りしますと言葉を述べました。その後、ボンボンによる模範演技が披露され、最後に二斉放水火魔完封を喜び、防火への決意を新たにした。

みんなで来てね

市立幼稚園子ども展
■とき…1月27日(金)～29日(日)、午前9時～午後4時
■ところ…中央公民館(展示室、ロビー)
■入場料…無料

市立幼稚園子ども音楽会
■とき…1月29日(日)、午前10時～正午
■ところ…文化会館大ホール
■入場料…無料

(学校教育課)

文化財を火災から守ろう

文化財防火デー

一月二十六日は、文化財防火デーです。文化財防火デーは、昭和二十四年十月二十七日に、法隆寺から大火が焼失したことから、国民的財産である文化財を火災・震災などの災害から守るという文化財保護思想の高揚を図るために設けられました。

本市には、平等院鳳凰堂やおの・堂や宇治神社本殿などの国宝をはじめ、貴重な文化財が数多くあります。本市には、平等院鳳凰堂やおの・堂や宇治神社本殿などの国宝をはじめ、貴重な文化財が数多くあります。本市には、平等院鳳凰堂やおの・堂や宇治神社本殿などの国宝をはじめ、貴重な文化財が数多くあります。

先人が築き上げた大切な文化財を後世に伝えるのは、私たちの義務です。文化財を火災から守るため、一人ひとりが次の正しいマナーを身につけましょう。

○文化財の付近では、たき火やたばこを火を使わない。
○火遊びをしない、させない。

なお、消防本部では、文化財の防火特別査察や社寺消防訓練を行います。(消防本部)

1月26日

